

2025年9月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

株式会社アミファ

2025年5月15日

amifa

スタンダード市場(証券コード7800)

『We are smile producers!』

全ては笑顔のために



JR東日本商品化許諾済



© TOMY 「トミカ」は株式会社カラトラミーの登録商標です。



2025年 9 月期（25/ 9 期） 第 2 四半期（中間期）決算概要

I

amifa

25/ 2 Q決算の経営概要

【外部環境】

- + 雇用・所得環境の改善
- + インバウンド需要の増加
- インフレの継続や円安進行による物価上昇の影響大
- 米国新政権の通商政策の動向、中国経済の先行き懸念

景気の先行きは依然として不透明

【内部環境】

- + 新企画、新商品提案に積極的に取り組む
- + ライフスタイル雑貨の販売に注力
- + 売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売
- + 継続した原価低減と販売費及び一般管理費の削減

売上高・損益ともに
前年同期を上回る実績を達成

25/2Q損益概要（対24/2Q）

売上高は、前年同期比205百万円増加（4.2%増）の5,138百万円
円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、
また、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益も前年同期を大きく上回って着地。

（単位：百万円）

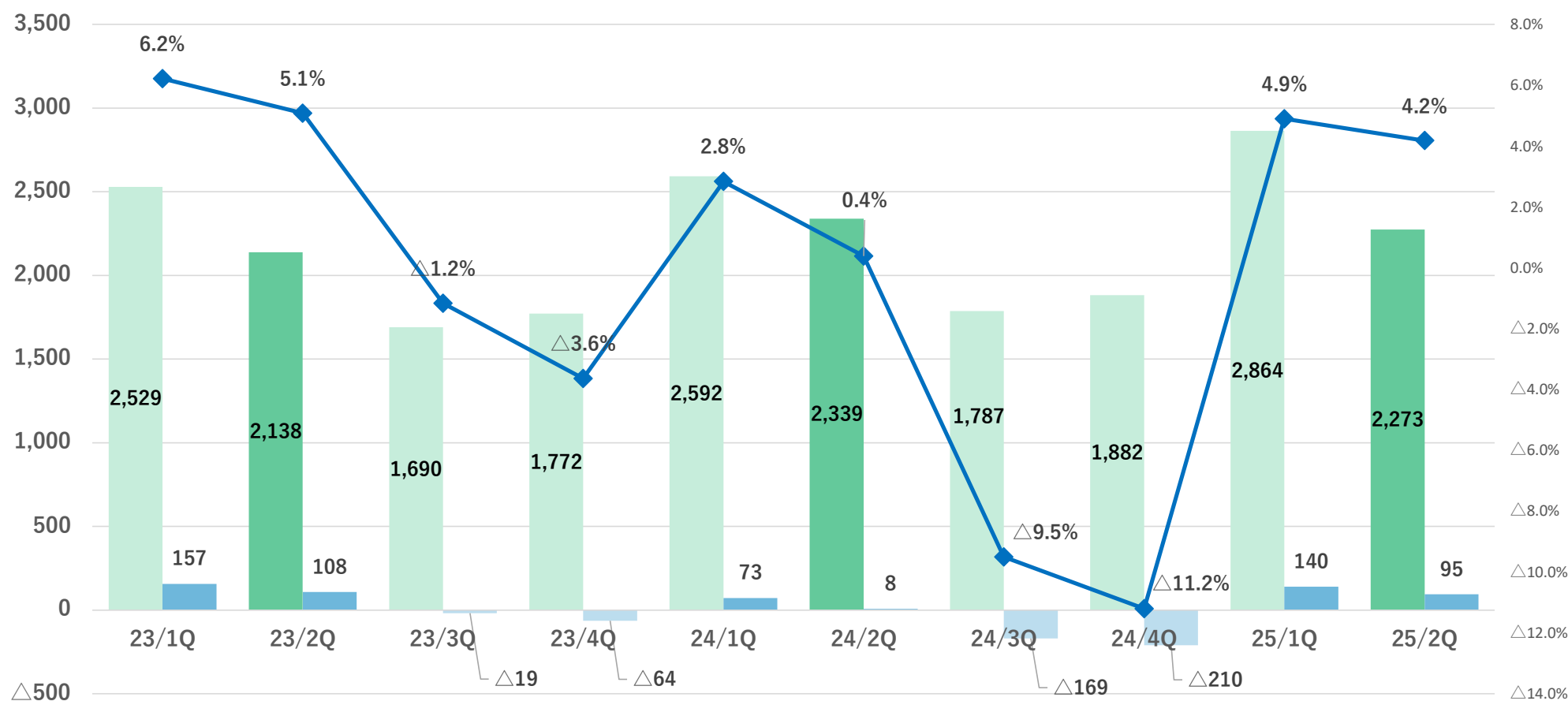
	24/2Q	25/2Q	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	4,932	5,138	205	4.2 %
営業利益	(1.7%) 82	(4.6 %) 235	152	185.2 %
経常利益	70	211	140	198.5 %
中間純利益	48	111	62	128.4 %
1株当たり 中間純利益(円/株)	16.24	36.98	20.74	127.7 %

四半期売上高・営業利益推移

(百万円)

売上高 営業損益 売上高営業利益率

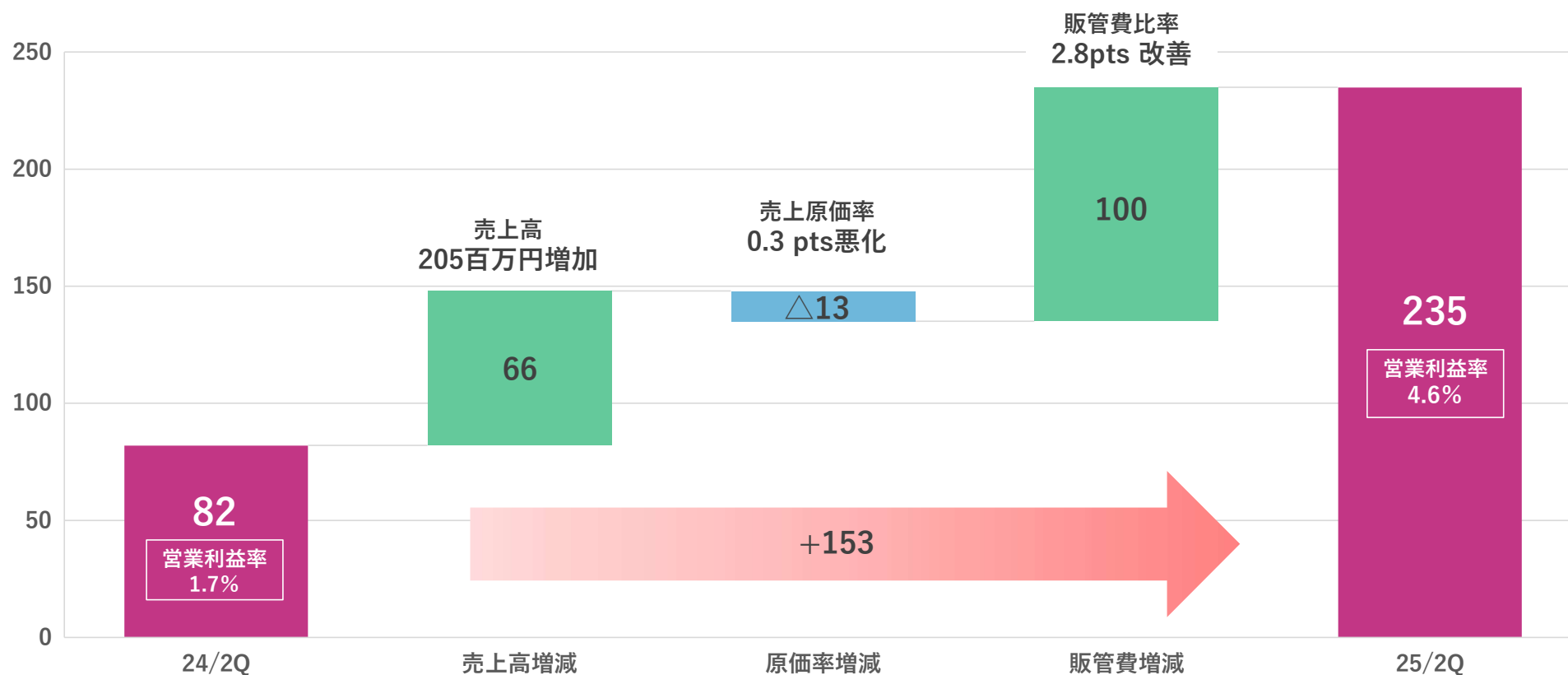
営業利益率



営業利益増減内訳（対24/2Q）

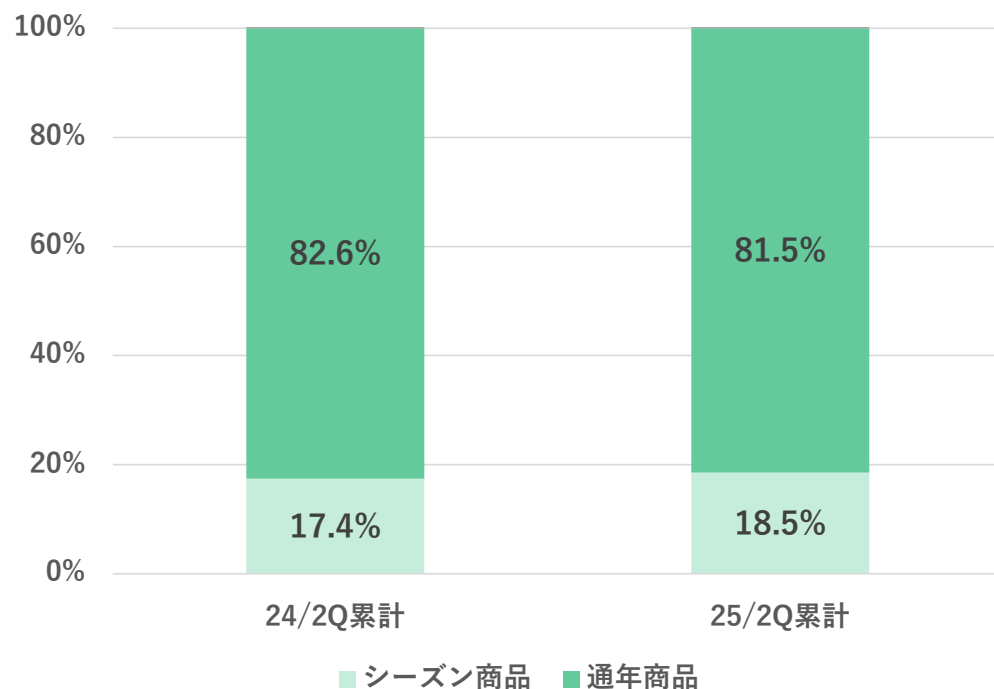
売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売が奏功し、売上高は205百万円増加。
また、円安環境が継続する中でも継続した原価低減により粗利改善も進んだが、商品評価損増加の影響で0.3pts悪化。
販売費及び一般管理費は削減努力により、販管費比率は前年同期比2.8pts改善。
その結果、営業利益は153百万円増（185.2%増）の235百万円（営業利益率2.9pts改善）となった。

（単位：百万円）



25/2Q 「シーズン商品」と「通年商品」比率（対24/2Q）

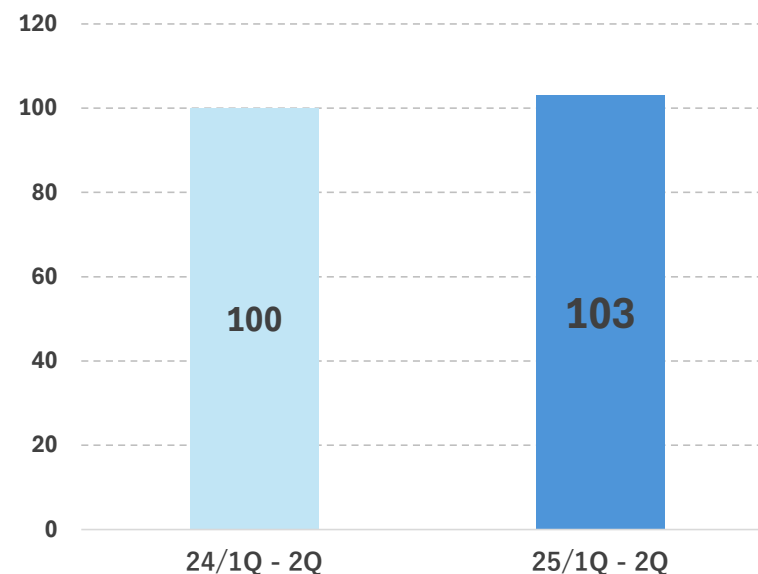
生産性向上と売上安定化を目指した「通年商品比率アップ戦略」の効果により、通年商品比率は高水準で推移している。
25/1Qはクリスマス関連商品、25/2Qはバレンタイン関連商品を中心に「シーズン商品」の販売が前年同期を上回る水準で推移し、「通年商品」構成比は前年同期比で1.1pts減少。



バレンタイン関連商品売上高

バレンタイン関連商品は3%増

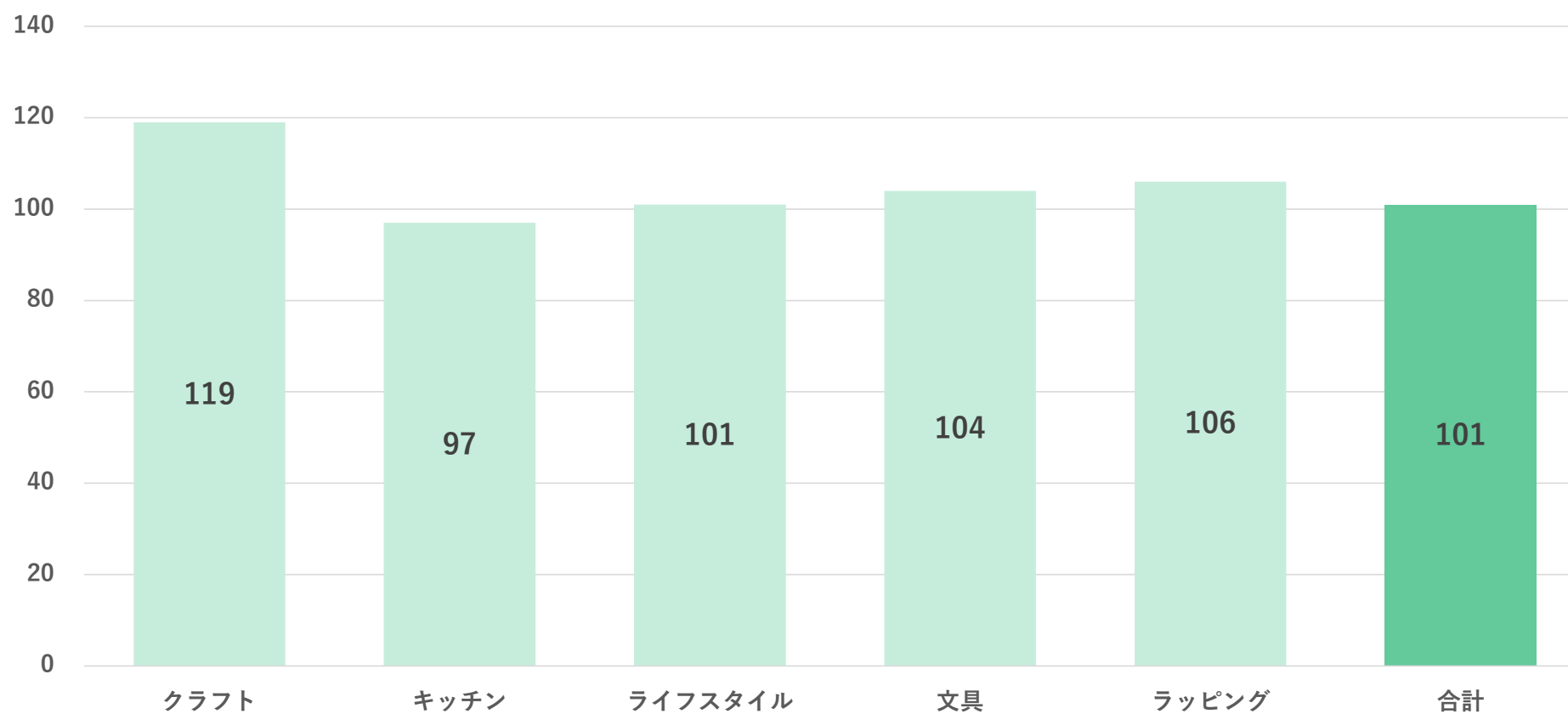
(24/1Q-2Q売上を100として指数化)



※ 出荷シーズン：12月から2月

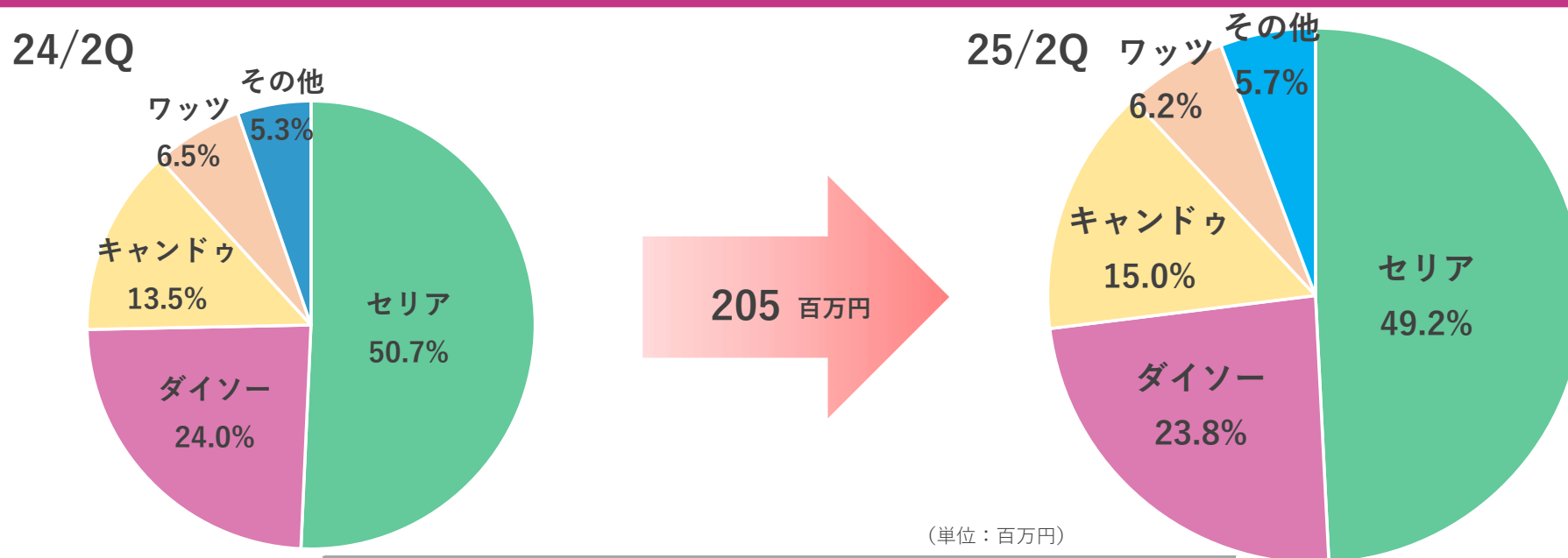
クラフト・文具・ラッピングが伸長

(24/2Q = 100)



顧客別売上構成比推移（対24/2Q）

キャンドゥ向け売上がライセンス商品の寄与もあり大幅に増加。
セリア・ダイソー向け売上は堅調に推移。



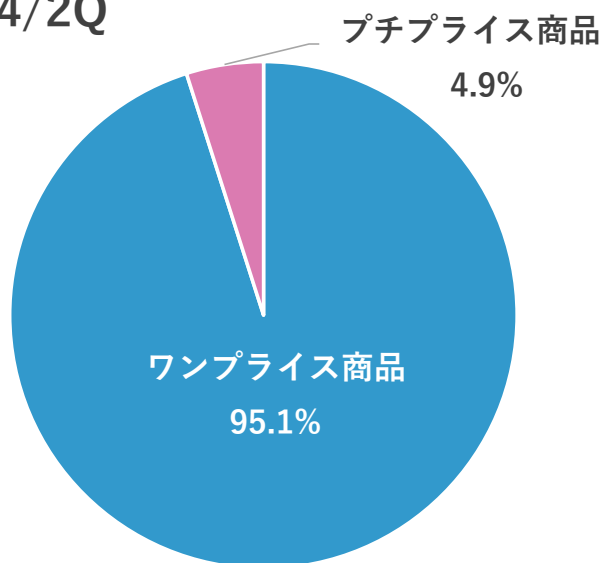
（単位：百万円）

	24/2Q	25/2Q	増減額	増減率
セリア	2,501	2,527	26	1.1%
ダイソー	1,182	1,224	42	3.6%
キャンドゥ	668	773	105	15.7%
ワッツ	318	317	△ 1	△0.6%
その他	262	295	33	12.7%
合計	4,932	5,138	205	4.2%

ワンプラ・プチプラ売上構成比推移（対24/2Q）

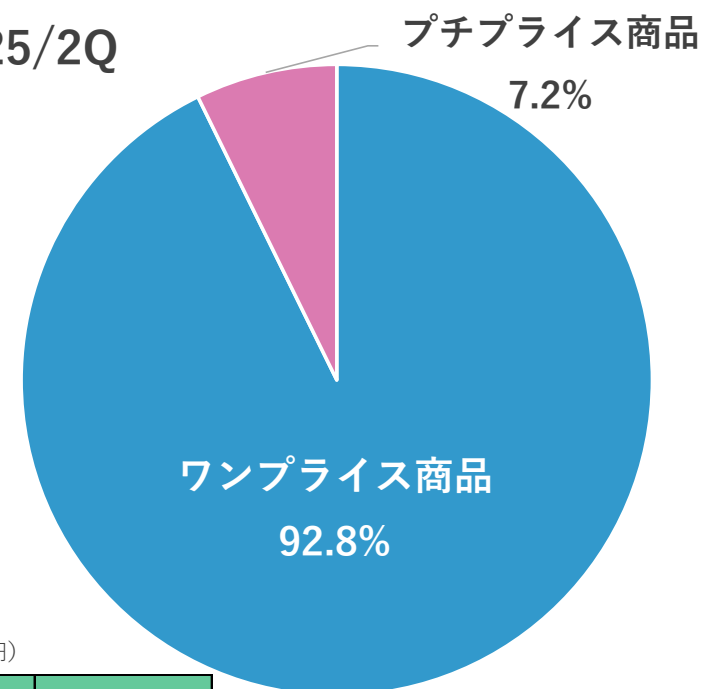
プチプライス商品は100円ショップ向け高価格帯、OEM商品の売上が増加し、売上金額（+130百万円）、構成比率（4.9%⇒7.2%）ともに伸長

24/2Q



205 百万円

25/2Q



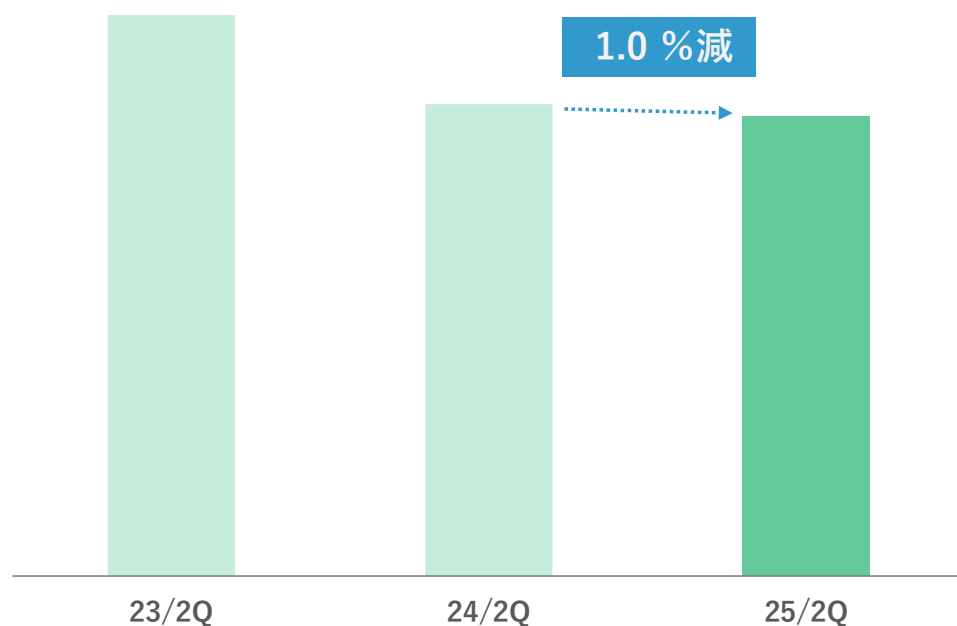
（単位：百万円）

	24/2Q	25/2Q	増減額	増減率
ワンプライス商品	4,690	4,765	74	1.6%
プチプライス商品	242	372	130	53.9%
合計	4,932	5,138	205	4.2%

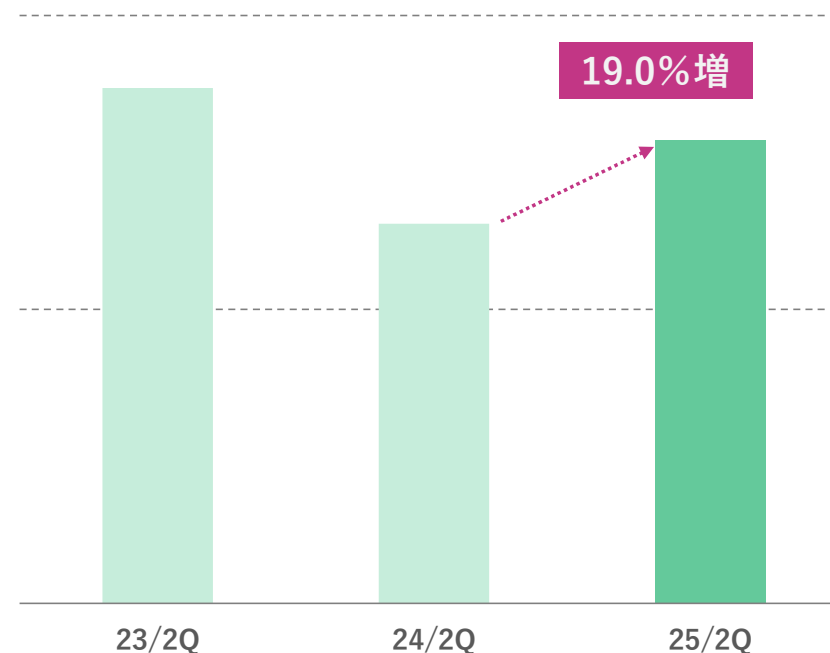
従業員1人あたり売上高・付加価値額推移

売上高は前年同期より増加も、人員数増加により従業員1人あたり売上高は1.0%減少。
1人あたり付加価値額は、原価低減、販売費及び一般管理費の削減の取り組み効果により、
前年同期比19.0%増と大幅に回復。

従業員1人あたり売上高

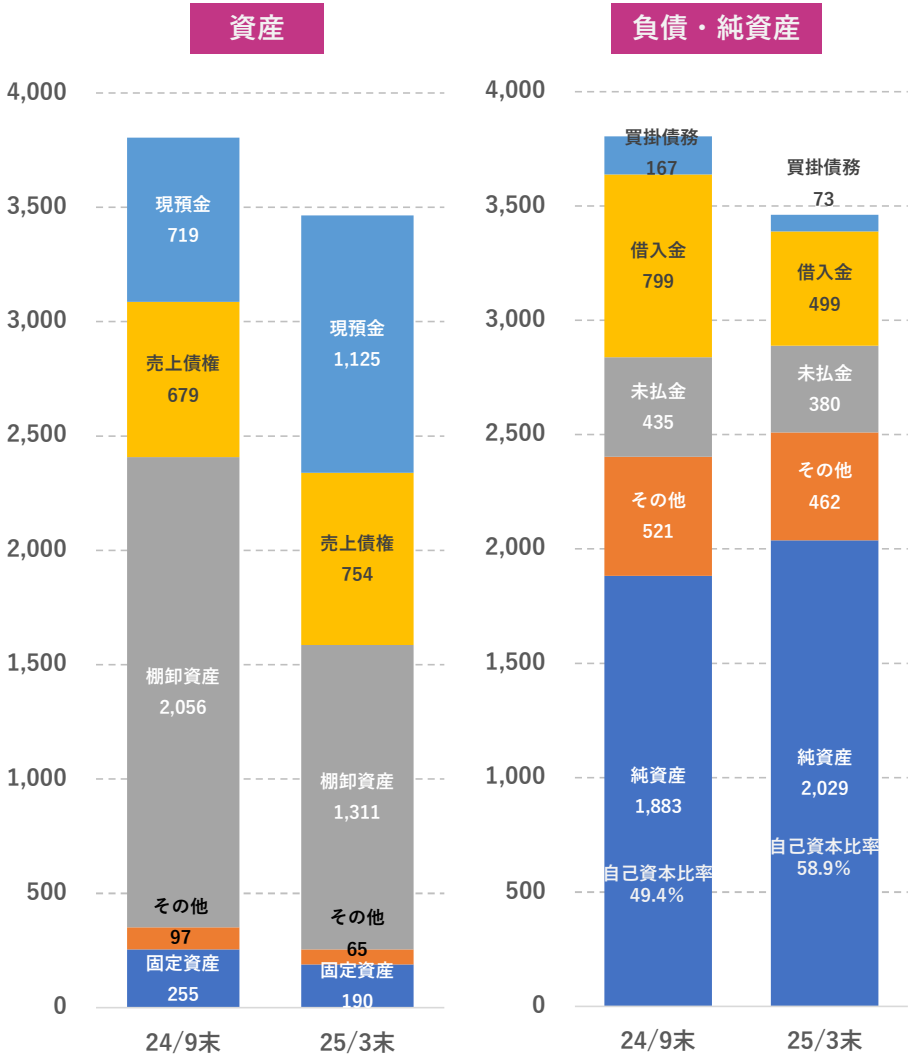


従業員1人あたり付加価値額



貸借対照表

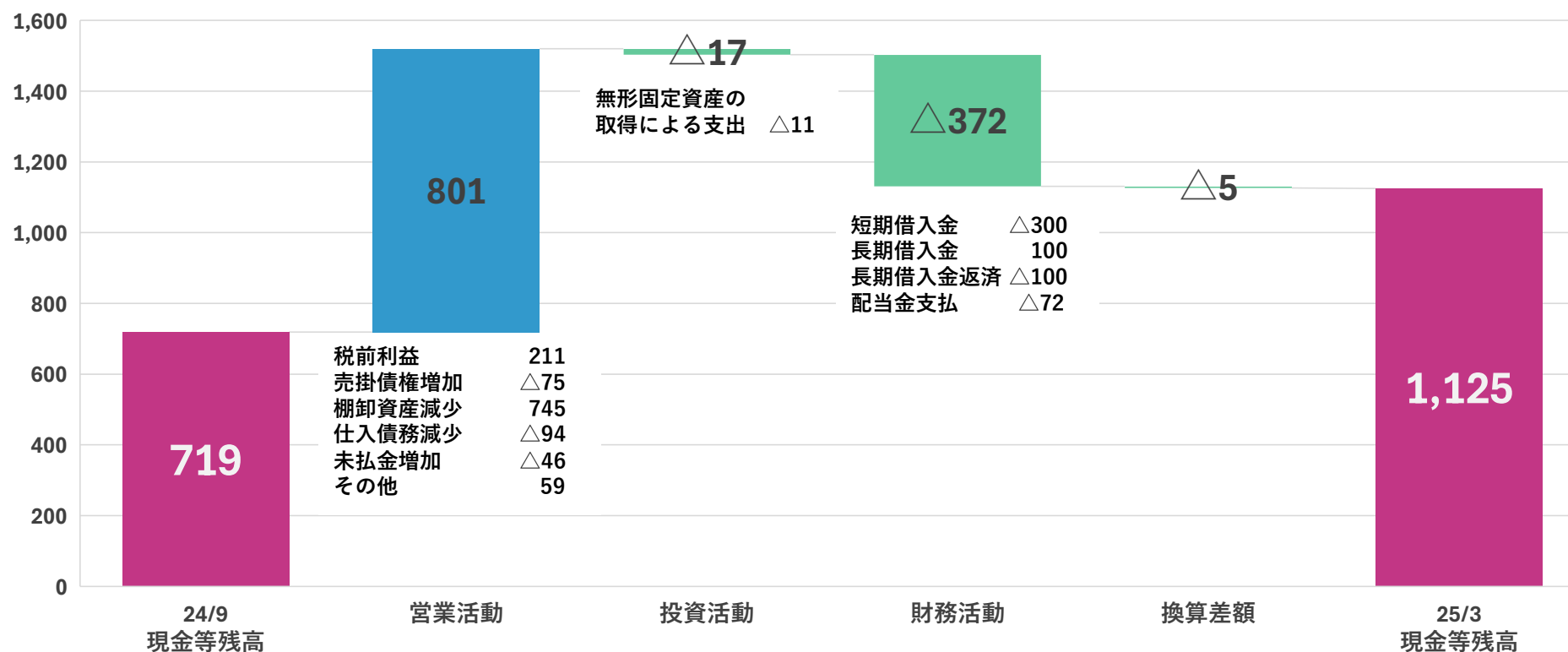
(単位：百万円)				
科目		24/9末	25/3末	増減
流動資産	現金及び預金	719	1,125	406
	受取手形・売掛金・電子債権	679	754	74
	棚卸資産	2,056	1,311	△ 745
	その他流動資産	97	65	△ 31
	流動資産計	3,553	3,257	△ 296
固定資産	有形固定資産	35	38	2
	無形固定資産	73	61	△ 11
	投資その他の資産	147	90	△ 56
	固定資産計	255	190	△ 65
資産計		3,809	3,447	△ 361
流動負債	買掛金	167	73	△ 94
	短期借入金	499	199	△ 300
	未払金	435	380	△ 55
	その他流動負債	232	170	△ 61
	流動負債計	1,335	824	△ 511
固定負債	長期借入金	300	300	0
	長期未払金	254	254	0
	退職給付引当金	35	38	3
	固定負債計	590	594	3
負債計		1,925	1,418	△ 507
純資産	資本金	37	37	0
	資本剰余金	273	273	0
	利益剰余金	1,835	1,874	39
	自己株式	△ 141	△ 141	0
	繰延ヘッジ損益	△ 121	△ 14	106
純資産計		1,883	2,029	145
負債・純資産計		3,809	3,447	△ 361



キャッシュフロー計算書

- ・ 25年3月末現預金等残高は406百万円増の1,125百万円
- ・ 借入金の期末残高は前期末から300百万円減の499百万円
- ・ 税前利益の増加に加え、棚卸資産残高を大きく圧縮し、営業CFは801百万円を達成

(単位：百万円)



2025年 9 月期 業績予想

II

amifa

2025年9月期 業績予想（2024年11月14日公表値から変更なし）

（単位：百万円）

	24/9期 実績	25/9期 業績予想	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	8,602	9,300	697	8.1 %
営業利益	△298	215	513	-
経常利益	△286	210	496	-
当期純利益	△283	135	418	-
1株当たり当期純利益 （円/株）	△94.20	44.72	138.92	-
配当（円/株）	24.00	24.00	-	-
配当性向	-	53.7%	-	-

25/9期通期の業績予想

- 消費者のニーズ、シーズを捉えた積極的な新企画、新商品の投入により、売上高93億円を目指す
- 商品開発力、企画提案力及び営業力をさらに強化し、商品の収益性を向上
- 需要予測精度向上による在庫水準の最適化
- 原価低減施策、物流合理化による徹底したコストダウン、生産性向上

営業利益率は2.3%へとV字回復させ、黒字転換を目指す

配当は24円/株の予定（据え置き）

25/9期 2 Qの商品トピックス

III

amifa

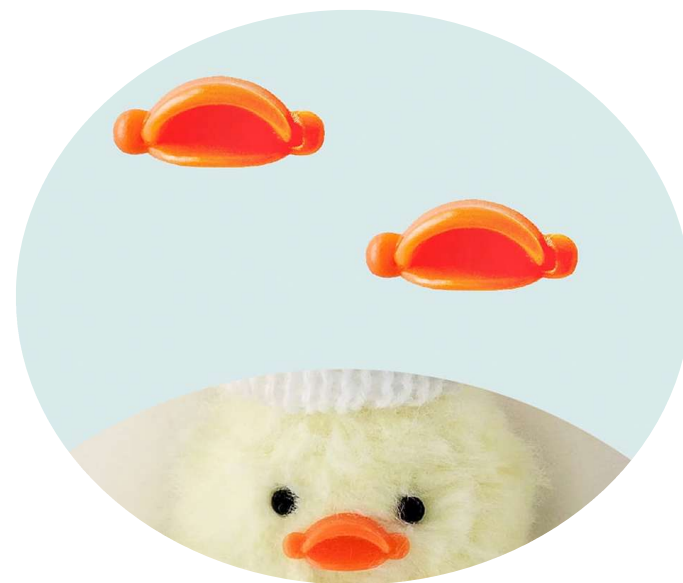
JR企画

今回は新たに、お弁当箱やおかずカップ・保冷剤などのランチグッズやレジャー用品、お子様と楽しめるワッペンやキーホルダー、シールブックなど、全17商品を取り揃え2025年1月より発売しました。



モールドール企画

大人気のモールドールシリーズに、新色モールとパーツが2025年2月、5商品加わりました。チャンネル登録者数48万人の「やまももちゃんねるつ」でも紹介された大ヒットシリーズの新作です。



トミカ企画

多くの方に親しまれているトミカのミニカーシリーズをモチーフに、アミファが得意な文具類からキーホルダーやポーチ、ジップバッグ、収納ボックスなど27商品を展開し2025年3月より販売しました。



＜お問い合わせ先＞

経営企画室 IR担当

メールアドレス：ir@amifa.co.jp

本資料における将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証をあたえるものではありません。
予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。